

2011年度 国際金融論 中間試験

担当 岩村 英之

出題日 2011年6月20日

提出期限 2011年7月4日 11:00

1. 以下の GDP 統計の恒等式について、なぜ「輸入」にマイナスの符号がつかなければならないのか（＝なぜ輸入を差し引かなければならないのか）を説明しなさい。

$$GDP = \text{消費} + \text{投資} + \text{政府支出} + \text{輸出} - \text{輸入}$$

2. 「日本は今後高齢化が急速に進展するため、経常収支はやがて赤字化するであろう」と言われている。このような予測の前提となる考え方を説明しなさい。
3. 国際収支表に関する以下の各問に答えなさい。

- (a) 日本と外国の間で、1年間で以下の取引が行われたとする。それぞれの取引は日本の国際収支表にどのように記載されるか。ただし、経常勘定、資本勘定、公的外貨準備に分けて記載すること。また、国際収支表の金額がどの取引に対応するのか分かるように、「500億円（取引 A）」という形式で記入すること。

取引 A 日本人がフランス企業の株を 500 億円分購入し、フランス企業がスイスに持つ銀行口座に代金を入金する。

取引 B アメリカの観光客が、日本への観光旅行で 200 億円を使う（支払は円現金）。

取引 C 日本銀行が（日本政府の依頼によって）外為市場において、日本銀行にある政府預金を使って、日本人が米国の銀行に持つ口座のドルを 300 億円分購入する。

取引 D ドイツの資産家が、日本に持つ銀行口座から 80 億円の利子を受け、そのまま日本に預金する。

- (b) 経常収支、資本収支、公的外貨準備増減はどうなるか。

- (c) この 1 年で、日本の対外純資産はどう変化したか。

4. 今、円建資産の利率 i が 0.01、ドル建資産の利率 i^* が 0.05 であるとする。以下の各問に答えなさい（きれいな数字にならない場合は、小数点第 3 位以降を切り捨ててよい）。

- (a) 1 年後の円＝ドル・レート（つまり、今日）の期待値が 84 円であるとすると、今日の円＝ドル・レートは理論上どのような水準にあると考えられるか。

- (b) 円建資産の利率が 0.03 へと上昇したとする。このとき、今日の円＝ドル・レートはどのような値に変化すると考えられるか。

- (c) $i = 0.01$ および $i^* = 0.05$ のとき、1 ドル 88 円（つまり、(a) とは異なる為替レート）で外為市場が均衡しているとする。金利平価が成立しないにもかかわらず、市場が均衡している事実をどのように解釈することができるか。考えられるケースをひとつ説明しなさい。

5. ドル建資産からの利息収入に一定の税金が課されることになった場合、円＝ドル・レートは税金が課されない場合と比較してどのような水準になると考えられるか。文字式あるいは具体的な数値例を用いるなどして、説明しなさい。
6. 「1年後に1ドル85円で100ドル売ります」といったように、将来のある時点でドルを決められたレートで決められた金額だけ売却/購入することを、現時点で契約することができる。このような契約を「先渡（さきわたし）契約」と呼び、先渡契約において契約されるレートを「先渡レート」と呼ぶ。先渡レートに関連する以下の問いに答えなさい。
 - (a) 今、 $i = 0.01$ および $i^* = 0.05$ であり、先渡レートが1ドル85円であるとする。今日のレートが87.5円であるとする。今日ドル建資産を購入し、同時に先渡契約を結ぶ（＝1年後にドルを売る契約を現在結ぶ）ことで約束される収益率はいくらになるか。計算過程も説明すること。
 - (b) 1年後の円＝ドル・レートの期待値が84円であったとする。今日ドル建資産を購入し、先渡契約を結ばない場合の期待収益率はいくらになるか。
 - (c) 以上の結果より、先渡市場におけるドルの需給はどう変化すると考えられるか。なお、先渡市場におけるドルの需要とは、「1年後にドルを買う契約を今結びたい」という要望のことであり、先渡市場におけるドルの供給とは、「1年後にドルを売る契約を今結びたい」という要望のことである。
 - (d) 結果として、先渡市場における円＝ドル・レートがどのような水準に来たとき、先渡市場が均衡すると考えられるか。

提出方法等

- 2011年7月4日の講義終了時に提出すること。もちろん、その前の週の講義時に提出しても構いません。
- どうしても都合がつかない場合は、SFC-SFSを通じた提出も認めます。こちらの詳細については後日連絡します。
- 締切を過ぎた場合は、いかなる理由であっても0点とします。
- 原則として、手書きの原稿は控えてください。いくつか式を書くことが要求される問題がありますが、分量は少ないので、MS-Wordの利用者であれば「挿入 - オブジェクト - Microsoft 数式 3.0」を使ってなんとか書いてください。そうした手間も考えれば、早めにとりかかったほうがよいでしょう。
- 最終的な答えが数字で出てくるものについては、数字のみを答えるのではなく、その導出のプロセスをある程度説明すること。数字のみの場合は大幅に減点します。一方、プロセスが明記してあれば、最終的な数字が間違っているにもかかわらずかなりの部分点を差し上げます（もちろん、プロセスが正しい場合に限る）。
- 表紙は不要です。1枚目の最初に所属学部、学籍番号、氏名を明記してください。